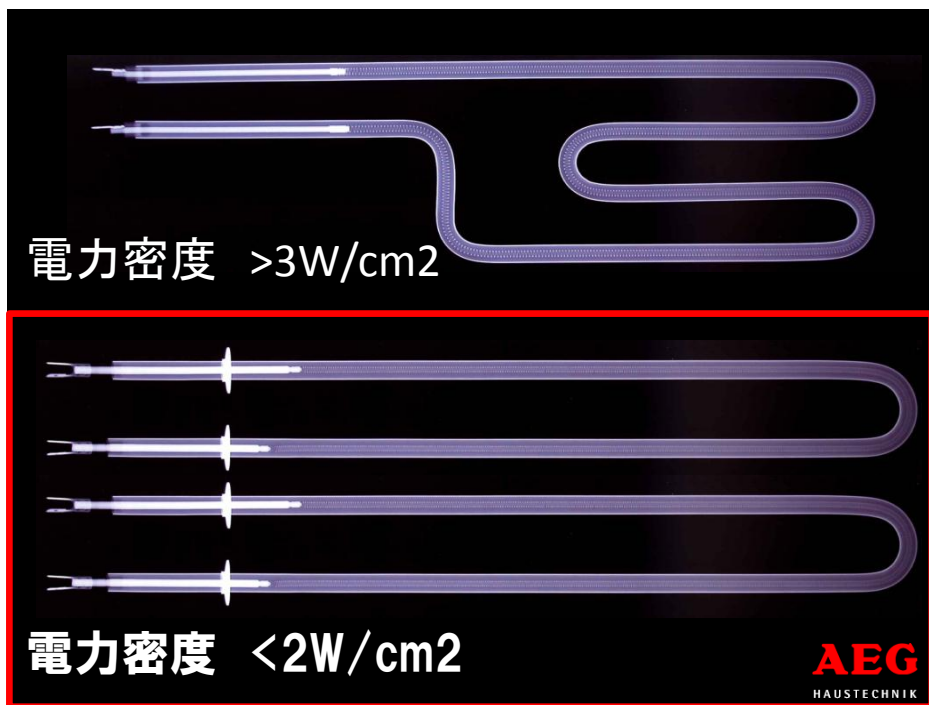


ヒーターエレメントはシーズ管の中に発熱体であるニクロム線とニクロム線の熱をシーズ管に伝えると同時に電氣的絶縁を行う目的でマグネシアの粉末が充填されています。AEGのニクロム線はニクロム線の敷設間隔は一般的は1.5mmから2.5mmに対してAEGは0.3mmから0.5mmニクロム線の長さは一般品の3から5倍です。ニクロム線の単位長さ当たりの発熱量が小さく長寿命。さらにニクロム線間隔が短いのでマグネシア粉末の粒子が均一でなければならず、高い製造技術が必要です。



ヒーターエレメントの仕様の一つに電力密度というものがあります。それはヒーターエレメントの単位面積当たりの発熱量を表すもので、同じ総発熱量であればヒーターエレメントは太くて長いほうが数値が小さくなりヒーターエレメントの負担が小さく、より寿命が長くなります。